

有限会社長谷川挽物製作所

新潟県燕市

はばたく中小企業・小規模事業者300社

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

「作る人を育て続けること」をモットーに 難切削材加工に挑戦し続ける企業

主に金属材料を切削加工し、一般的なネジ形状から複雑形状まで、各種精密部品を製造。難切削材として知られるニッケル基合金（インコネル・ハステロイ等）の加工を得意とし、熟練工技術のデータ化や適合する条件や加工方法の研究により、安定的な製品供給に成功。「技術のハセヒキ」として全国でも高く評価されている。また、全国の展示会へ積極的に出展、支援機関と連携しながら燕三条地区全体の技術力をPR。その結果、取引先数は約400社に増加、従業員も12名から50名に拡大した。

● 所在地 新潟県燕市小関681-18
● 電話/FAX 0256 63 8622/0256 64 3567
● URL <http://hasehiki.co.jp/>
● 代表者 代表取締役 長谷川 克紀

● 設立 1953年
● 資本金 510万円
● 従業員数 45人



担い手確保

産学官連携も活用したダイバーシティ人材の獲得、育成、活用

同社の社長は、インターンシップ受入組織「つばめ産学協創スクエア」の理事を務める一方、新潟大学の「協創経営プログラム」を支援、早稲田大学主催の産研フォーラムでパネリストを務める等、産学官連携での人材獲得事業に貢献。インターンシップではタイの留学生を受入れる等、外国人材の育成にも協力している。また、従業員の1/3にあたる女性人材の活用に向けて、女性が働きやすい職場環境の整備や、産休取得者の復帰を後押しするため担当業務の改善を行っている。



現場で活躍する女性従業員たち

「社員にとって理想の会社」を創る

「社員にとって理想の会社を創ること」を目標に、全従業員に向けてアンケートを実施。その内容を踏まえて、「明るく清潔感のある綺麗な職場」の実現に向けた工場・事業所の修繕を行った他、毎年のベースアップ、年間休日の増加（105日⇒111日）を実現した。また、全職員の「会社の目標」「プライベートの目標」を社内に掲示することで、ゴールを明確化しやる気を引き出すとともに、お互いを知ることで良好なコミュニケーションが築けるような仕組みづくりに努めている。



明るく清潔感のある職場で生産性アップ

次世代のリーダーを育てる「品質技術会議」を実施

「作る人を育て続けること」を経営理念とする同社では、人材育成に尽力。難削材の製品を安定供給するため、技術の習熟やノウハウを共有する「品質技術会議」を週1回実施。若手リーダー6人を中心に①受発注を通じた経営スキルの向上、②加工技術の向上、③次世代経営層の育成を研究しており、技術面の向上だけでなく、意思決定体制の構築を目的とし、全体のスキルアップを目標としている。また、作業工程をマニュアル化し、製造工程の“見える化”を推進、若手人材の積極的な活用にも努めている。



若手リーダーによる「品質技術会議」

ものづくり